

夢窓幼稚園通信第39号

2026年 9月 30日

秋……だからで しょうか！?

「与えられている」という言葉が、口を衝いて出てくる
ことが 最近よくあります。

さらに、静かにして 力強く「すでに与えられて
いる」と、身体の内深くから 響いてくることもあります。
大きな 驚きや よろこびを 伴って 入に 出会った 時や、特別
に 心動かされた 言葉や 表現を 目の前に した ような…感動
した 出来事は もちろんですが、それ以外にも 全く 特別ではない
いつもの ことが、すこぶる 何より 大切な ことだと 気がついた
ときに、私たちは「Gift from Universe!」(宇宙
からの 賜り物!)に 支えられ 守られ 生かされていると、
思うのかもしれない。

当り前のように 呼吸をしたり、疑うことなく 朝を迎えて…日々を
過ごしていますが、ちょうどいいくらいの 酸素があったり、うれ
しいくらいの 光が 射し込んでいたり、心地いいくらいの
風が 流れているのは、実は 奇跡的な ことなのかもしれません。

子どもたちが 今日も クレゴムシ 探しができるのも、果実が デザート
にできるのも、空気を いっぱい 吸い込みながら カスタ体操に
挑戦し 磨きを かけるのも… 過ごせる 環境が 与えられ
ているからなのでしょう。そして「私自身」が…

ここに 生まれ 今 生きているということ…は、すでに 与えられ
贈られているのですね。

予感と 憧れに 誘われながら みずからの 深みへ 降りていく
おのれを 省みながら 自分を 夏の 日の 贈り物と 感じる

今 私 は 秋の 季節に

萌える 芽となり 魂の 熱い 力となって 生きる

R.S 『魂のこよみ』10月(1)

おかげさまで、大切な今年の10月を明日 迎えます。
さらに 深まっていく 秋に、贈り届けられた 恵みと「私自身」を
よろこび、感謝し、平和であることを 祈りたいと思います。

園長 外光 泰雄